

第5章 環境について自ら考え行動する人づくり

第1節 学校における環境教育の促進

1 環境教育の実施体制の整備

(1) 里山里海湖学校教育プログラム集

【自然環境課】

里山里海湖について、小中学校教員が児童・生徒を指導するためのプログラムを、現場の先生方の意見を踏まえながら作成しました。

表 5-1-1 これまでに作成したプログラム

	プログラム名
25年度	道徳読み物資料 ・「じいちゃんからの宿題」 ・「世界の標準時計となった『水月湖の年縞』」
26年度	三方五湖周辺体験プログラム
27年度	北潟湖周辺体験プログラム 六呂師高原周辺体験プログラム
28年度	丹南地区周辺体験プログラム
30年度	三方五湖周辺体験プログラム改訂 (福井県年縞博物館を追加 他)
元年度	北潟湖周辺体験プログラム改訂 六呂師高原周辺体験プログラム改訂
2年度	丹南地区周辺体験プログラム改訂
3年度	三方五湖周辺体験プログラム改訂

平成26年度から作成している体験プログラムは、身近な里山里海湖を実際に体験することにより保全の意識を高め、自主的な活動を促すことを目的としており、すべての小中学校へ配布しました。これにより、小中学校の教員が、「里山里海湖とは何か」、「里山里海湖でどんな活動ができるのか」を知ることができる手引書としての活用と「里山里海湖の恵み」を児童・生徒に体験させることができるものと期待しています。

さらに、それぞれの地域の特性を活かした体験活動を実施することで、より福井の里山里海湖の魅力を実感し、保全・再生の意識を向上させていけると考えています。

今後とも、系統立てた環境教育を推進できるよう、学校の年間指導計画に位置付けていけるよう努めていきます。

表 5-1-2 令和2年度にプログラムを体験した学校数・人数

	学校・団体数	児童・生徒数
三方五湖	24校・団体	768名
北潟湖	6校・団体	128名
六呂師	11校・団体	908名
丹南	235校・団体	15,008名
合計	276校・団体	16,812名



学校教育プログラム「水月湖年縞 講義」

(2) 環境・エネルギー教育支援事業

【義務教育課・高校教育課】

県内の小・中・高等学校を対象に、地域の特色に応じた実践を通して、児童・生徒の理解を深め、自ら考え、判断し、よりよく環境・エネルギー問題を解決する力を育成することをねらいとした「環境・エネルギー教育支援事業」を推進しています。

小学校では、発電や蓄電について学習する教材の活用やエネルギー教育関連施設の見学を通して、環境・エネルギー教育を進めています。

中学校では、放射線性質実験器や発電実験器等を購入し、実験や観察を通して放射線の性質や様々な発電方法について正しい知識と科学的な理解を深める授業を充実させています。

高等学校では、原子力発電実験模型や火力発電実験模型を用いて発電のしくみを学んだり、発電効率を探究的に検証したりするなど、発展的な環境・エネルギー教育を進めています。さらに、専門家による講演会や施設見学会等を通してエネルギー問題や放射線に対する理解を深める取組みを実践しています。

今後とも、各校の取組みを県内全体に広め、環境・エネルギー教育の一層の普及に努めていきます。

◆第2部 分野別施策の実施状況

表 5-1-3 環境・エネルギー教育支援事業取組状況

	元年度	2年度	3年度
環境・エネルギー教育に関連する施設等の見学	9校	10校	12校
講師による講演や意見交換会での指導および助言	2校	3校	3校
エネルギー教育に関する資材・機材の活用方法の研究	51校	81校	64校



「福井県版ミステリーカード」に関連付ける作業の様子

(3) 福井県気候変動教育プログラム

【環境政策課】

地域で地球温暖化防止や気候変動の適応に向けた活動を企画・実施できる人材を育成するため、ドイツの気候変動教育プログラムを参考に、令和元年度から福井県独自の気候変動教育プログラムの開発をしてきました。

プログラムは、基礎編「福井県版ミステリーワークショップ」、応用編「課題解決ワークショップ」の2つで構成されています。

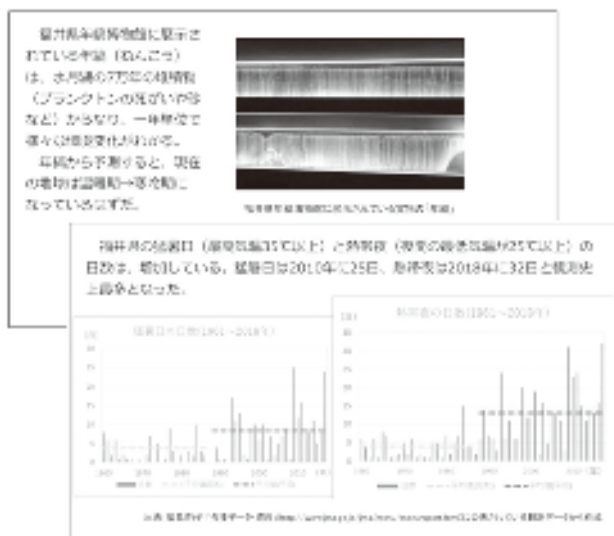
基礎編「福井県版ミステリーワークショップ」では、24枚1組の「福井県版ミステリーカード」をグループごとに関連付ける作業を通して、気候変動によりどのような現象が発生しているかを把握し、

気候変動には様々な事柄が複雑に絡み合っていることを学びます。

応用編「課題解決ワークショップ」では、福井県の交通・エネルギー・農林水産業の統計データから県の抱える課題をグループで分析し、将来の理想像を考え、これを実現するために必要な解決策をジグソー法の手法を使って考えます。

令和3年度は、県内高校でプログラムを実践したほか、中学校・高校の教員を対象としたプログラム体験会、環境指導者向けの講師養成研修を実施しました。

令和4年度も県内各地で教員向けの体験会を実施しプログラムの普及を強化しながら、学校現場等での実践を継続する予定です。



「福井県版ミステリーカード」の例



統計データ集の一例
(福井県の交通に関する統計データ)